

令和元年度 埼玉県最新映像活用実証実験
webサイト原寸大表示システム〈試作品〉

＝ご利用にあたり＝

はじめに

Webサイト原寸大表示システムは、いろいろな物を実寸大で画面表示するweb用ソフトウェアです。

このWebサイト原寸大表示システムは、初期実証実験用に製作されたものです。

実証実験環境として、Windows10(OS)、edgeおよびie11(Webブラウザ)でご利用いただけます。

Webサイト原寸大表示システムは、表示モニターの大きさ(インチサイズ)や解像度に関係なく、原寸大表示を実現したものです。

表示するモニターの特性により、多少の誤差がありますので、正確に表示できない場合があります。

(1) webサイトにアクセスする

①PCのブラウザを起動します。(edge、ie11推奨)

②URL (http://) を入力します。

http://www.skipcity.jp/gensun/

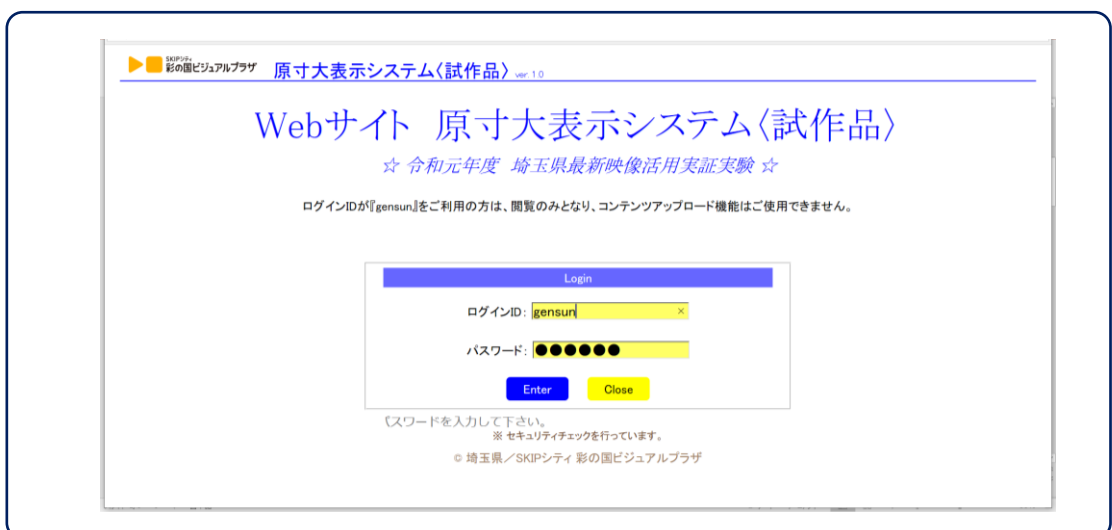
※お使いのインターネットのセキュリティの項目の、「ポップアップをブロックする」をオフの状態アクセスしてください。

③ログイン画面が表示されます。

④ログインID、パスワードを入力します。

体験用 ログインID : gensun パスワード : gensun

※体験用ログインIDでは、閲覧のみの体験となります。



(2) メニュー画面



原寸大表示

登録されたコンテンツを原寸大に表示します。

コンテンツアップロード

原寸大表示コンテンツを登録します。
※体験用ログインIDでは、ご使用できません。

モニター原寸大表示基準値入力

原寸大表示用のモニターの基準値を設定します。

※最初に原寸大表示用のモニター基準値をセットして下さい。

(3) モニターを設定する

モニター原寸大表示基準値入力

原寸大表示（基準図）

基準図

左の基準図の1辺を定規で測り基準値を入力してください。

スケール基準値
 mm

確認

基準図の一遍を定規で測り、数値を入力します。

基準図 - 確認

スケール基準値 : 19mm

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
(cm)

1辺が『約10cm』になっているか確認してください。|

OK 再スケール

一遍が10cmの原寸大基準図が表示されます。
正しく表示されているか確認します。
正しくない場合は、再スケールボタンを押し、もう一度定規で測り数値を入力してください。

原寸大表示



表示したいコンテンツを選択します。



選択されたコンテンツが表示されます。

(4) コンテンツをアップロードする※

コンテンツアップロード

※コンテンツアップロード機能は、体験用ログインID では、ご使用できません。

コンテンツアップロード

ファイル選択 (PNG/JPEGファイル)

参照... アップロード

※ 1ファイル 10MBまでアップロード出来ます。(最大5000MB)

	ファイル名	アップロード日時	サイズ (KB)	
1	A420180115_183658.jpg	2020/01/23 15:43:07	1657	削除
2	A4CD.jpg	2020/01/23 10:02:38	598	削除
3	A4カード1.jpg	2020/01/23 9:51:52	236	削除
4	A4カード2.jpg	2020/01/23 9:55:09	260	削除
5	A4スマホ1.jpg	2020/01/23 10:09:01	359	削除
6	A4スマホ2.jpg	2020/01/23 10:28:46	861	削除
7	A4ハガキ.jpg	2020/01/23 9:54:33	280	削除
8	A4定規1.jpg	2020/01/23 9:52:23	303	削除
9	A4定規2.jpg	2020/01/23 9:53:55	285	削除
10	A4手.png	2020/01/10 15:03:57	5480	削除
ファイル数合計 (11件)		サイズ合計 (MB)	10.25	

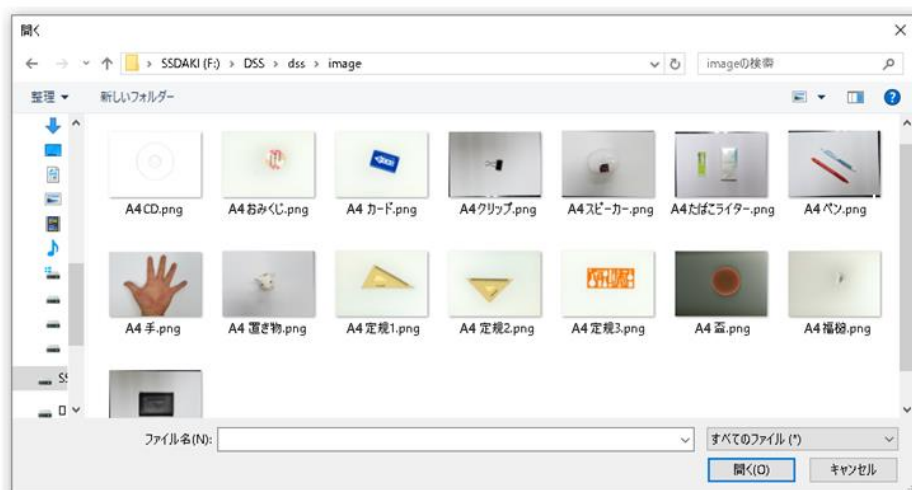
登録されているコンテンツリストが表示されます。

ファイル選択で、新しいコンテンツを選びます。

【注意】

画像データの頭に、「A4●●●」と背景に使用した紙のサイズを付けてください。

ファイル名を元に、紙のサイズを判別します。



PC内のコンテンツを選択します。

ファイル選択で、新しいコンテンツをアップロードします。

(4) 撮影して画像コンテンツを作成する

原寸大表示システム<試作品>において、原寸大で表示するためのコンテンツ制作方法は、2通りあります。どちらもA判の用紙（試作品ではA0からA5サイズまで）のサイズを利用して、コンテンツを作成します。

被写体を原寸大で表示するためには、基準となるスケールが必要となります。本試作品では、国際基準であるA判の用紙サイズ（例：A4判は210mm×297mmなど）を基準値として利用して原寸大表示を可能としています。汎用性の高い用紙サイズのため、簡単に表示可能なコンテンツを制作することができます。

1. カメラ（デジカメ・スマホなど）を利用する方法

- ①原寸大で表示したい被写体をA判用紙の上に置きます。この時、被写体が紙のサイズからはみ出さないようにしてください。
- ②真上から用紙全体が入るように撮影してください。
- ③撮影した静止画をペイントソフト（windows ペイントなど）で、背景の用紙サイズに切り取ってください。
- ④ファイル名の先頭に背景にした用紙サイズ（A4など）を付けて下さい。
※一例「A4はがき」

2. スキャナーを利用する方法

- ①原寸大で表示したい被写体をスキャナーの上に置きます。
- ②被写体をはみ出ないA判用紙のサイズ（A4など）を指定します。
- ③画像ファイルを保存します。
- ④ファイル名の先頭に指定した用紙のサイズ（A4など）を付け下さい。
※一例「A4はがき」

【補足】スキャナーを利用する場合は、用紙を背景に利用しなくても、スキャンする際に、用紙のサイズを指定することで、そのサイズの大きさのデータとなります。

【問い合わせ先】

incu@skipcity.com

株式会社デジタルSKIPステーション

《製作》 埼玉県／彩の国ビジュアルプラザ

《企画》 (株)デジタルSKIPステーション

《協力》 エニーシステム(株)